

第2回行財政改革推進委員会 事前質問 回答

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
1	質問	3頁	アウトソーシングの推進	「課題の整理、方向性を検討する」ことが今後の具体策であることは、結局、遅々として進んでいないということです。にもかかわらず、「計画に変更なし」の根拠を教えてください。	伊藤副委員長	政策室	アウトソーシングの検討施設とした体育施設につきましては、民間事業者と施設管理と事業（マラソン大会など）のどこまでがアウトソーシング可能か費用などの資料を提示しながら検討しています。 一方、他の施設につきましては、そもそもアウトソーシングが可能な施設であるかを検討する必要があり、進捗状況や検討結果によっては下期で計画の見直しが必要であると考えています。
2	質問	3頁	アウトソーシングの推進	アウトソーシングを目指す事務事業について、どのような事業をターゲットとするのか基準は示されていますか。（比較的アウトソーシング可能とは、その意味&基準。）学校給食センター施設整備事業についてはどう評価されたのでしょうか。	中村委員	政策室	アウトソーシングを検討する施設としては、計画に掲載している14の公共施設になります。 その中で、施設の位置づけや使用内容、管理方法などから体育施設は他の施設に比べて比較的アウトソーシングしやすいものと考えています。 なお、給食センターにつきましては、施設見学を行えるようになりそこから食育に関する啓発活動や旧施設ではできなかった新たなメニュー、アレルギー対応食などができるようになるなど評価できます。経費につきましては、旧施設とは規模も違うことや年度の途中なので比較できませんが、机上の計算では公設公営より約11億円程度の経費削減があると見込んでいるなど、メリットはあったと考えています。
3	質問	7頁	事務事業評価シートの活用	シートの構成と管理方法が終了する時期を明示願います。	伊藤副委員長	政策室	事務の簡素化を図るため事務事業評価シートを行財政改革の進捗管理に活用していきたいと考えておりましたが、現行の事務事業評価シートでは行財政改革の進捗管理はできないことが判明しました。 今回のシートは第1回目の委員会によるご意見なども踏まえ、年度ごとの計画や実績が分かるように作成したもので、現段階では事務事業評価シートを活用するよりも今回作成したシートの方が行財政改革の進捗管理に適しているのではないかと考えています。

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
4	提案	11頁	市民ニーズの的確な把握	種々の改良を行ったにも関わらず、回答率が低下している。これはアンケートの内容ではなく、アンケートの結果を受けて実施した施策が見えないため、市民の関心を高めることができないのではないか。アンケートの依頼文には、アンケート結果が身近なところで活かされていることを、具体性を持たせ簡潔に述べることで、アンケートの必要性を理解させることが必要であると思われる。	伊藤副委員長	政策室	現状では、アンケートの集計結果は公表していますが、結果を受けて実施した政策についてはお知らせしていません。 ご提案いただきました内容につきましては、今後検討させていただきます。
5	質問	13頁	参加対象者の拡大	ただか15人あるいは30人が参加して効果があるのですか。また、目的を明確に説明願います。	伊藤副委員長	政策室	参加者に施設制度の説明を行い、また意見をお聞きするには30名程度が適切であると考えております。 また、この事業は公共施設等の視察見学を行い、利用者としての目線や感覚で施設等に対する意見・提案等を提案していただき、その意見を施設運営の向上、市政への理解と関心を高めることを目的としております。 なお、当事業については「市長キャラバン」「市民の声」「市長とランチミーティング」「どこでも市長」など市民の方から意見をいただく新たな事業や拡充されている事業が実施されているため廃止も含めて検討をしていきます。
6	提案	19頁	市民との協働事業の取り組み	「分析と評価、体制づくり」をお題目としていますが、これらのことを市民にお願いしてはいかがですか。職員がやってもダメなことは結論が出ていると思うのですが。あるいは、市民から選抜したリーダーを他の機関で教育（教育費は市で負担）し、その方々が中心となって進めるのが良いと思います。	伊藤副委員長	市民参加推進課	「市民と行政との協働に関する基本指針」を定めており、現在、市民参画審議会で議論（特に「評価のあり方」について）しております。 なお、この指針の主な取り組み11項目のうち「協働事業の分析と評価」及び「市民と行政をつなぐ組織の支援」の2項目について、取り組みが出来ていないと指摘を受けております。
7	質問	29頁	公園施設等の管理の充実	公園再生プロジェクトの成果を提示願います。	伊藤副委員長	道路公園課	開設から20年以上が経過し、施設が老朽化するとともに、公園を利用する年齢層も変化してきているため、公園が市民の憩い及び交流の場としてより魅力的なものとなるよう、平成27年度には学識経験者を招いての勉強会を2回、平成28年度には職員による検討会を3回開催し、現在の公園の魅力と課題を明らかにしました。さらに、優先度が高いと判断した公園について、更に議論を深め、今後、新たなコンセプトを定め再生計画の素案を策定してまいります。

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
8	提案	35頁	改善処置の更なる推進	改善は件数もさることながら、その内容が重要です。件数を目標とするのではなく、効率アップによる時短効果などのように、視点を変えた方が良いのではないのでしょうか。	伊藤副委員長	政策室	ご提案のとおり改善は件数もさることながら内容も重要であり、修正に近い改善から改革に近い改善など様々なものがあると認識しています。 しかしながら、日頃から改善の意識を持つことが重要であり、その意識を広く組織内に浸透させていきたいと考えていることから、現段階においては改善の件数を目標値として設定しているところです。 効率アップなど全庁的に取り組める（参考となる）改善がありましたら、全庁的な取組みや周知を引き続き実施していきます。
9	質問	63頁	市債権回収に一括管理化	収納課に債権管理係が設立されて9ヶ月が経過しました。この間の成果を提示してください。	伊藤副委員長	収納課	介護保険料・保育料・学童保育料・学校給食費・後期高齢者医療保険料などについて各債権担当課より事務移管を受け（333件）、そのうち分納誓約が119件、滞納処分した件数が37件、徴収率は15.5%となっています。 完了した件数は87件で、事務移管された約4千万円のうち約570万円を徴収することができました。 ひとつ例をあげれば、介護保険料の滞繰分収納率は前年14%に対し、今年度は28%と倍の収納率となっており、債権管理担当を設置した効果が得られています。（H28年12月末）
10	提案	65頁	水洗化率の向上	未接続世帯数を提示してください。目標は率ではなく、未接続世帯数とすべきです。 「他業務が多忙で実施できなかった」は理由になりません。それこそ、業務改善で乗り切ったらいかがですか。また、依頼関係業務を下半期に行っているのも不可解です。依頼文の配布から始まると思いますが。	伊藤副委員長	河川下水道課	未接続世帯数はH25:2,904、H26:1,299、H27:1,349世帯となっています。なお、H26から集計方法が変わったため大きな変化があります。 目標指数を件数ではなく率としているのは、国への報告などに同様のものを用いていることや、都市間の比較ができなくなるため、率を用いています。 接続依頼は、決算など他の業務も見込み年間の計画を立てて取り組んでいますが、例年10月以降に戸別訪問を行います。賃貸住宅や遠方者へは郵便にて3月頃に通知しています。

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
11	質問	69頁	事業提案制度の導入	情報を収集するだけで、進んでいないと思われます。計画に変更がないのはなぜですか。 流山のベンチマーク研究会に参加した時のレポートを提示願います。	伊藤副委員長	政策室	ご指摘のとおり現状では情報収集のみとなっており、制度を確立するまでには、予定していた計画どおりに進まないと思っております。 研修会では大綱を作成した時に想像していた以上に、様々な手法について情報を得られたことから、本市においてどのような手法が良いのか検討していきたいと考えています。
12	質問	71頁	窓口業務の外部委託	「課題およびメリット・デメリット」のオンパレードです。「計画通り」はおかしいのでは。	伊藤副委員長	政策室	窓口業務の外部委託化につきましては、偽装請負や公権力の行使等の法律上の課題などが指摘されていますので、導入している自治体での課題や事例を収集し、検証をすることが重要であると考えています。 また、人口など自治体の規模によってはコストが過大になってしまう事例もあり、吉川市に照らし合わせた検証も必要となります。 これらを踏まえて、検証の結果によっては計画の変更（廃止）も必要であると考えています。
13	質問	75頁	公共施設マネジメントの推進	財政課の台帳整備の進捗状況を提示願います。「計画の見直しが必要」とあります。見直しを行ったのですか。	伊藤副委員長	政策室	固定資産台帳の整備につきましては、各部署で所管する資産についての洗い出しを行い、その整備時期や内容、改修の有無などにより減価償却などを業者にて積算している途中です。この情報と平成28年度中の追加削除を行い、平成29年9月頃に作成が完了する予定です。 個別施設計画を策定するにあたっては、この情報と整合を図ることとされていることから、平成30年度中の策定（国は平成32年度までの整備を掲げている）とすることとしました。
14	提案	多数	全般	成果目標が年度ごとに変わらない指標が定められている事項が散見されます。 改革事項に取り組んだ結果、その成果を示す目標は、職員が努力した結果が確認できる指標を選択すべきではないでしょうか。	中村委員	政策室	成果指標については今後達成していきたい目標値として設定しています。また、事務事業によっては、上位計画による目標値や経年変化をとらえていく必要があるものなども選定されています。 ご提案にありました「職員の努力した結果が確認できる指標」につきましては、成果指標ではなく活動指標として事務事業評価にて設定しています。

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
15	提案	全般	全般	「他市の事例収集」「セミナー参加」が多過ぎませんか。これ等の情報を基に行動しても、他市より上になることはあり得ません。少しは自ら考え、行動をすべきです。	伊藤副委員長	政策室	他市の事例収集やセミナーへの参加につきましては、手法や課題などの情報を収集し、それらを踏まえて吉川市ではどのようなことができるのかを検討するために参加させていただいております。 ご提案のとおり自ら考え行動することは重要であると認識しています。
16	質問	全般	全般	改革事項を所管する担当課が、政策室に偏っているのはなぜですか。また教育、福祉など大きな歳出を占める部署が入っていないのはなぜでしょう。経営改革大綱に定める効率的・効果的な行財政運営を推進するためには、行財政改革を市の組織をあげて、すべての部署が取り組む姿勢が必要と思うのですが。	中村委員	政策室	改革事項の選定にあたりましては、全部署において全ての事務事業を「健全財政・市民主役・地域の特性」を通して見直しを行ってもらい、特に効率的、効果的な行財政運営を推進するものを設定したところです。 行財政改革事項とはなっていないものも、各部署において事務事業評価や実施計画、予算編成などにより、事務の効率化やコスト削減、事業の見直しなどに取り組んでおります。
17	提案	全般	全般	行財政改革の評価システムについて、個々の事業は担当部署のみの評価で完結し、全体の評価機関は設けていないとのことですが、部署間の取り組み姿勢や成果を一定のレベルに押し上げるためには、客観的な評価システム（例えば課長級や部長級などの会議体を設けるなど）が必要ではないでしょうか。	中村委員	政策室	行財政改革の評価システムにつきましては、課長級による確認、評価をし、政策室でその内容や状況を確認しています。また、委員の皆さまにいただきましたご提案やご意見は担当部署へフィードバックする予定です。 これらのことから、現状においては会議体の設置は考えておりません。
18	提案	全般	全般	大綱の計画期間の5年間で改革項目は固定とのことですが、担当部署間の取り組み姿勢や経営努力の成果を評価する観点から、計画期間内に改革項目を見直すなどの取り組みが必要ではないでしょうか。 (計画P、取組D、評価C、見直A=成果のあった事項、無かった事項、努力が必要な事項など)	中村委員	政策室	今回、進捗管理をするうえで計画の見直しが必要となるものもありました。ご提案いただきました通り、進捗状況や時勢の変化などをとらえて見直しをしていくことは必要であると考えています。

No.	種類	頁	改革項目名	内容	質問委員	担当部署	回答
19	提案	全般	全般	改革事項に対する成果目標の意味づけが不明確な事項が多く見受けられると思います。別紙に具体的な項目について意見を述べます。	中村委員	政策室	<p>大綱の策定時においては行財政改革の進捗管理に事務事業評価シートの活用を考えておりましたが、ご指摘のとおり事務事業評価の成果目標と行財政改革事項の目標は必ずしも一致しているものではありませんでした。</p> <p>事務事業評価シートに行財政改革の内容を入れるよりも、別のシートにより評価をした方が分かりやすいと考え、今回の進捗管理シートを作成したものです。なお、事務事業評価については、あくまでも関連する事務事業としてその成果指標も掲出しているところです。</p>
20	提案	全般	全般	「市民意識調査」では、バスの便、医療、スポーツ施設、文化施設、子育て支援、高齢者支援などへの要望が多い。今後の改革項目に、こうした事業内容を取り入れることが必要ではないか。	大塚委員長	政策室	<p>市民意識調査の結果は全庁で共有し、今後の事業検討などに活用しています。</p> <p>これらの事業の中で行財政改革として取組み必要があるものは取り入れていきたいと考えています。</p>